

知的ナノ計測研究分科会 第八回分科会 議事録

日 時：平成 17 年 12 月 12 日（月）14：00～17：30

場 所：大阪大学大学院工学研究科 機械工学専攻 マイクロ機械科学部門 ナノ加工計測学領域
三好・高谷研究室 （大阪府吹田市山田丘 2-1）

出席者：高増（東京大学），清野（東北大学），高（東北大学），高谷（大阪大学），奥山（秋田大学），高辻（産総研），根岸（キャノン（株）），大嶋（ソニー（株）），天沼（（株）山武），林（（株）ナノ），越智（ハイデンハイン（株）），小倉（NEDO），林（大阪大学），小森（京都大学），谷村（ミットヨ），配野（ミットヨ），古賀（ミットヨ），高橋（東京大学），以上 18 名（敬称略）

配布資料：

1. 第8回知的ナノ計測分科会 参加者名簿
2. 第7回知的ナノ計測分科会 議事録
3. 科学研究費基盤研究（C）（企画調査）研究計画調書
4. 精密工学会専門委員会事業案
5. 第8回知的ナノ計測研究分科会資料（三好・高谷研究室作成）

内 容：

1. 分科会議事

① 科学研究費基盤研究（C）（企画調査）研究計画調書について

- ・ 高増幹事より，今年度申請を行った掲題調書について説明があった。
- ・ 将来的に特定領域研究を提案するための位置付けである旨確認された。

② 精密工学会専門委員会について

- ・ 高増幹事より，今年度で終了となる分科会の枠組みをベースにして，次年度精密工学会専門委員会として，発足申請をする旨確認された。（申請書提出：2006年1月10日締切り）
- ・ 申請に用いる事業案が諮られ，認められた。なお，組織案は以下となる。
委員長：高増潔，幹事：高谷裕浩，高偉，会計監事：林亮，事務局：高橋哲
- ・ 会計監事候補の林委員より，法人年会費について，以下の提案があり，今後，詳細を詰める形で認められた。
一口あたりの金額を設け，会社規模・事情に応じて口数を柔軟に設定する。

③ 国際会議，ISMTII2007準備状況について

- ・ 高委員より，ISMTII2007の最新の準備状況（会期および会場変更等）について説明があり，委員への協力要請がなされた。具体的な変更点は以下となる。
会期：9月25日～27日 → 9月24日～27日
会場：松島 → 東北大学
- ・ 結果，以下が現状最終案：
2007年9月24日（月）～27日（木）に東北，東北大学にて開催

④ 委員近況

- ・ 新委員として，高辻利之委員（産業技術総合研究所）から自己紹介がされた。

2. 講演

① 阪大機械系組織の概要（高谷先生）

高谷先生から、大阪大学の組織概要について説明いただいた。特に、工学部・工学研究科、機械系組織の最近の変遷について、詳細に説明いただいた。

② 三好・高谷研究室研究内容紹介（高谷先生）

高谷先生から、大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻マイクロ機械科学部門ナノ加工計測学領域、三好・高谷研究室の最新の研究内容を紹介いただいた。超精密加工表面性状のレーザ応用ナノインプロセス計測、レーザ応用ナノ加工/物理計測技術、レーザ応用微細形状創成技術、生体機能のレーザ応用測定解析技術、三次元形状/概観欠陥の光応用計測技術に関する概略の紹介のあと、特に、最先端ナノ計測技術である、レーザトラッピングを用いたナノCMMに関する研究について、詳細なご講演をいただいた。

3. 研究室・設備見学会

三好・高谷研究室の見学会を行い、多岐にわたった最先端レーザ応用ナノ計測・加工に関する研究成果をご紹介いただき、活発な質疑応答、意見交換がなされた。

4. 懇親会

最新のナノ計測に関する話題を中心に活発な意見交換がなされた。

以上